

1. 事故発生の日時 令和3年9月7日(火) 10時45分頃

2. 事故発生の場所 日高川町

3. 事故発生場所の工事名、工期

工事名：土砂災害対策道路工事

工期：令和3年7月28日～令和4年1月28日

4. 請負業者名 県内建設業者

5. 事故発生状況

高さ約1.2m付近でポケット式落石防止網工における金網設置作業を行っていたところ、地に固定していたアンカーが抜け、支柱とともに被災者が倒れこみ、既設のロックフェンスに頭部を打ち付けた。

○男性1名負傷（後頭骨骨折等）

6. 事故原因

地質、地盤の種類等の調査が十分でなかったため、転石を岩盤と誤認し、土砂部用アンカーを用いるべきところに岩部用アンカーを使用したこと。

7. 改善対策

- ・ 削孔状況や鉄筋の打ち込みにより土砂層の厚さを確認する等、十分な調査を行ったうえで適切なアンカーを選定する。
- ・ 吊りロープを固定するアンカーは耐力確認試験により定着を確認するとともに、他のアンカーについても、目視、ハンマー等を用いた接触打音等の方法により必ず定着を確認する。
- ・ 上記の対応がとられているか、専門の下請業者だけでなく元請業者も確認する。